

住吉中学校ブロック交通安全部会

第6回会議資料

日時：平成24年7月3日(火) 19:00

場所：住吉小学校 プレハブ2階会議室

1 通学路の検証及び今後の通学路の検討

(1) Aルート

(2) Bルート

(3) 雨水整備レインボープラン博多等に伴う通学路の対応

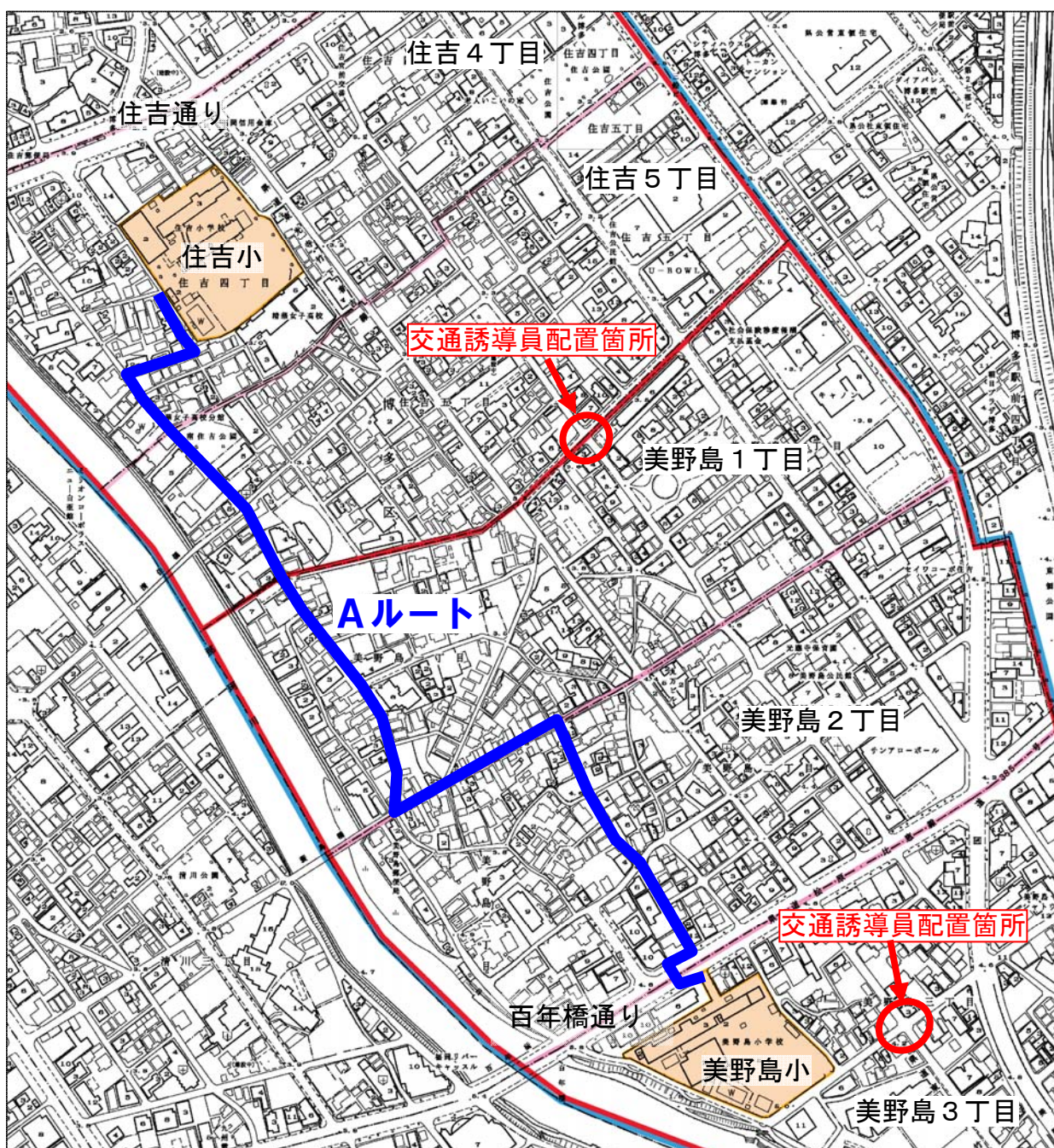
2 Cルートの通学路指定について

【参考資料】 見守り・誘導體制配置図

Aルート

Aルートにおける課題と対応

課題	対応
道路幅員が狭く、見通しが悪い	<ul style="list-style-type: none"> 第5回交通安全部会において確認した地域・PTAによる見守り・誘導地点以外にも、さらに密度の高い配置体制を引いていただいているが、これに加え、下校時に交通誘導員による巡回を実施



通学路の検証及び今後の通学路の検討

2学期以降のAルート（案）

○Aルートの一部について、下図「ア」の区間を「イ」の区間に変更する。

（理由）

- ・道路幅員の関係から、路側帯のカラー塗装は南住吉公園までとなっていること。
- ・「ア」区間より道路の幅員が広く、見通しがよいこと。

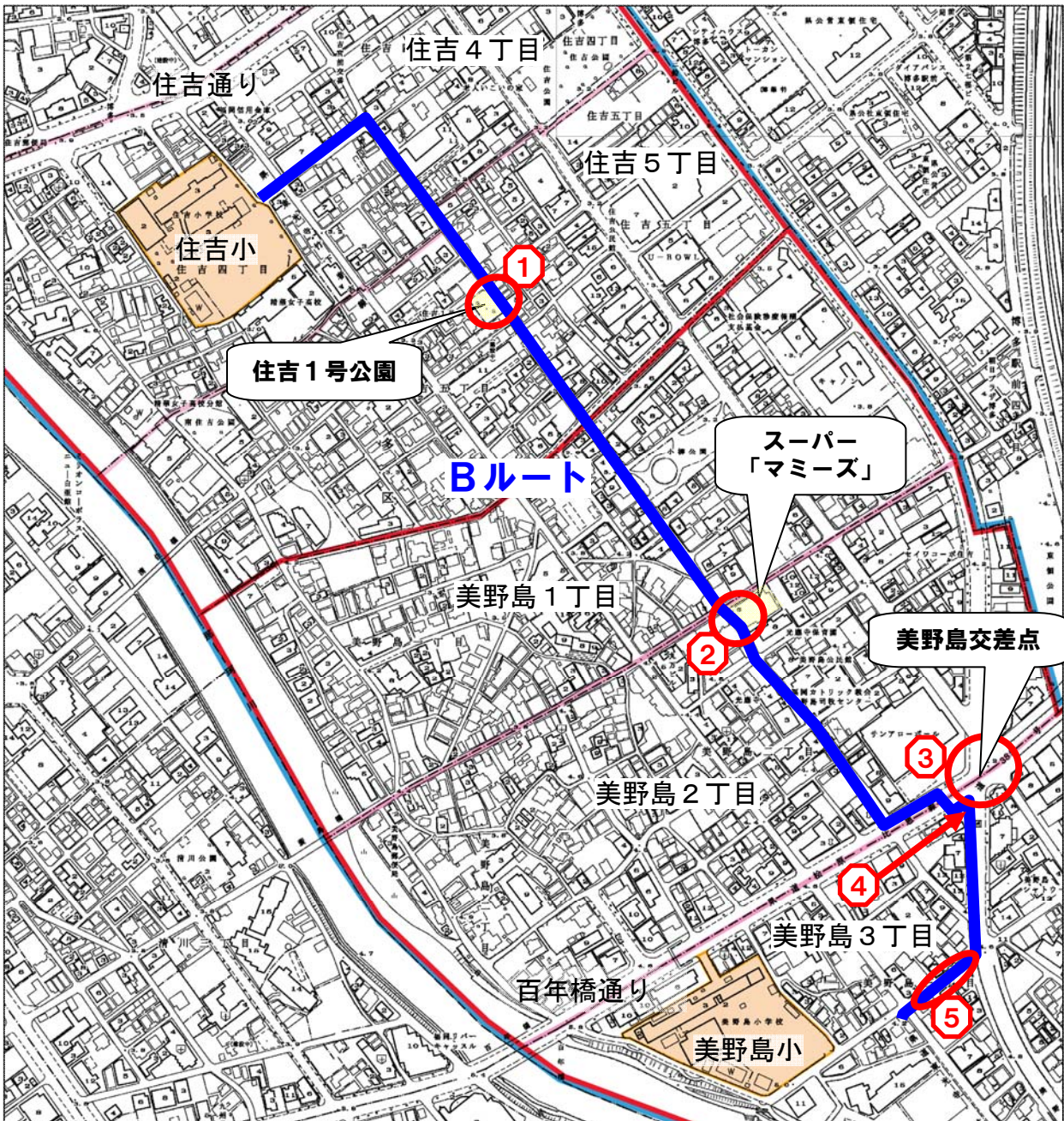


通学路の検証及び今後の通学路の検討

Bルート

Bルートにおける課題と対応

地点	課題	対応
①	住吉1号公園横の不法駐輪による通行阻害	博多区維持管理課において所有者への注意喚起により解消
②	スーパー「マミーズ」横の物資搬入車両の駐車	店長との協議により、駐車場所の変更
③	美野島交差点での比恵方面からの赤信号後の車両進入（登校時）	白バイによる巡回の実施（登校時）
④	美野島交差点赤信号待機時の自転車との交錯	路面シールの追加貼付により待機位置の明確化を図り、交錯を回避
⑤	雨天時の路側帯水溜まり	博多区維持管理課において雨水の排水処理を実施



通学路の検証及び今後の通学路の検討

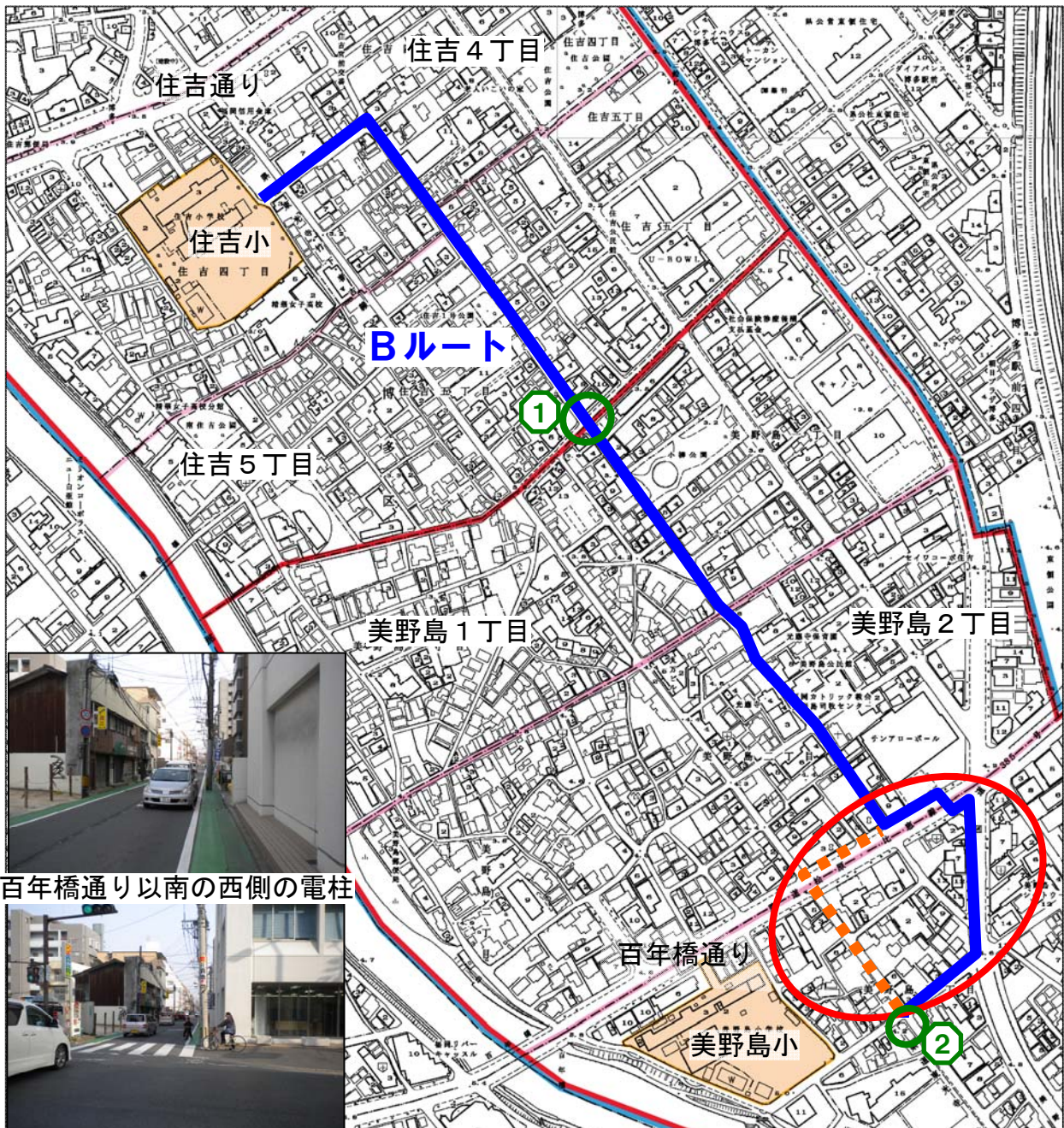
2学期以降のBルート（案）

○交通誘導員の配置については、1学期の児童の通学状況を踏まえ、2学期についても、引き続き下図①、②の箇所に配置する。

○百年橋通り以南の区間（赤丸で囲んだ区間）については、2学期以降も現行どおりとする。

（理由）

- ・下図②地点交差点において交通誘導員や、地域、PTAの見守りによって、現在特に支障なく横断ができていていること。
- ・下図②地点交差点より百年橋通りへ北上した場合（下図の橙色点線区間）、西側路側帯（幅員1m）に電柱が4本あり、通行する際は車道側にはみ出さざるを得ないが、電線・通信事業者との協議の結果、早期の移設は困難との回答を得ていること。



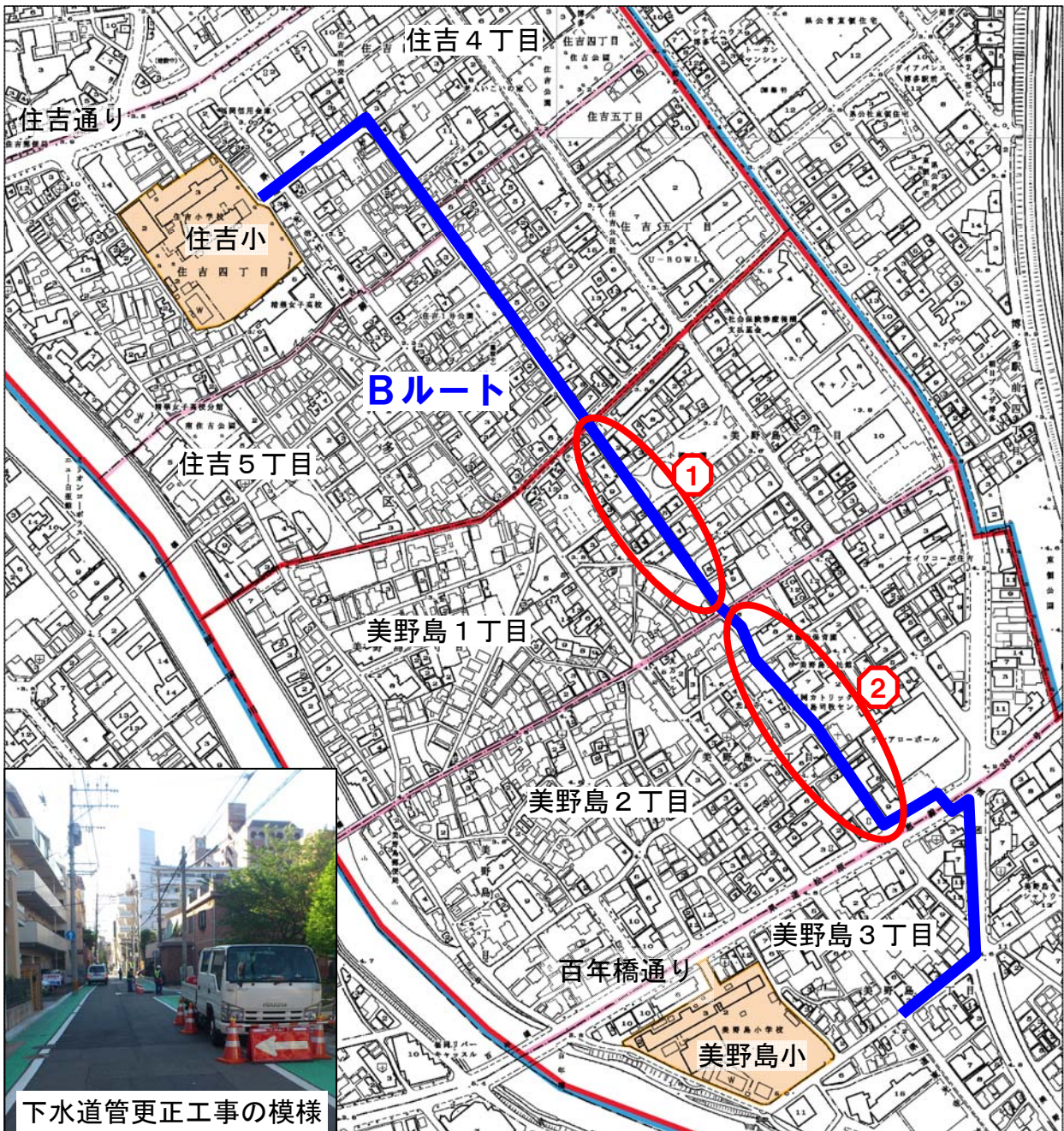
雨水整備レインボープラン博多等に伴う通学路の対応

1 学期における整備状況

【工事担当：道路下水道局博多駅地区浸水対策室】

○下図①の区間で下水道管更正工事を実施。朝の登校時間後の作業であり、登校時の影響はなし。また、掘削を伴わない作業であり、重機等の大型工事関係車両による占拠はないため（下記写真参照）、下校時間は歩行者専用誘導員を配置し、対応。

○下図②の区間で今後整備予定の浸透側溝のための試掘調査を実施。朝の登校時間後の作業であり、登校時の影響はなく、下校時間は歩行者専用誘導員を配置し、対応。なお、当調査の結果を踏まえ、今後、本整備を実施予定。

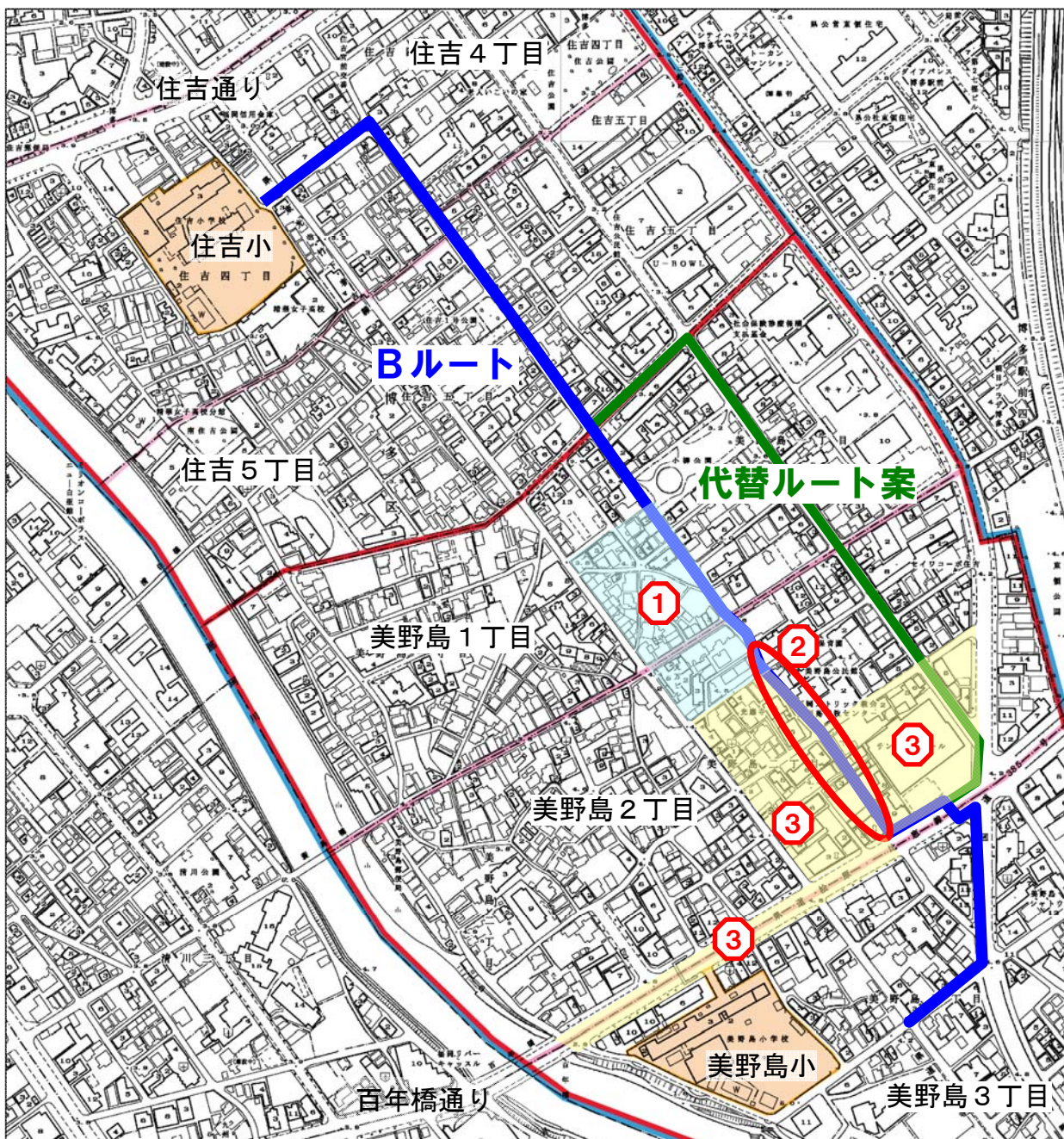


通学路の検証及び今後の通学路の検討

工事に伴うBルートへの検討（案）

【工事担当：道路下水道局博多駅地区浸水対策室】

- 下図①のエリア（水色）において、浸透側溝整備を夏休み期間に行う予定。
- 下図②の区間において、2学期に下水道管更正工事を実施予定であるが、前ページに記載の1学期に実施した工事と同様の工事であり、歩行者専用誘導員の配置により当該工事期間中もBルートを使用する。
- 下図③のエリア（黄色）において、今後、浸透側溝の整備が予定されており、整備期間中は重機等の工事関係車両が通学路を占拠することから、施工時期が判明次第、整備期間中の代替ルート（下図緑色区間）の設定について、検討する。



Cルートに通学路指定について

C1ルート（百年橋通り以南の区間）

○4ページに記載のとおり、通学路として指定せず、引き続き現行ルートを使用する。

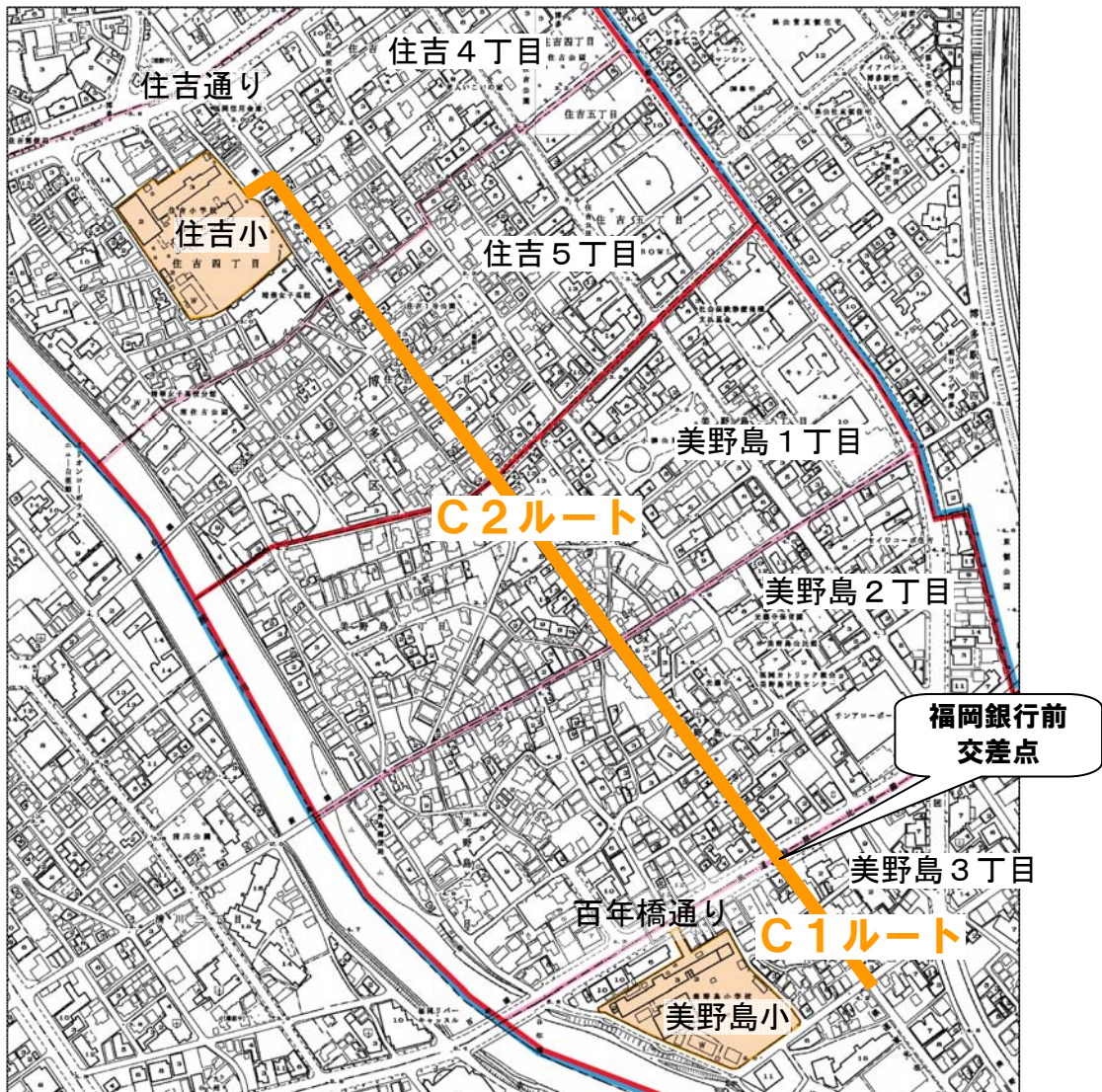
C2ルート（住吉通りから百年橋通りの区間）検討（案）

○C2ルートの通学路指定にあたっては、交通量が多いため時間帯一方通行規制が必要と思われるが、現時点における同ルートの交通量調査結果及びBルート方面への車両の移動状況は次ページのとおり。

○調査結果から、C2ルートは小学生の通学路として使用せず、引き続き現行のA・Bルートを使用することが望ましいと考えられる。

（理由）

- ・仮に「住吉通りから百年橋通り方面」へ時間帯一方通行規制をした場合、C2ルートを南下する車両は200台あり（現Bルートの5倍）、さらに対面車両がなくなることで車両速度が増すと考えられること。
- ・また、時間帯一方通行規制により現在安全に通行できているBルートに相当数の車両流入が想定され、現在のBルートの安全性が低下すると考えられること。



Cルートに通学路指定について

交通量調査結果【調査日：6/18(月) 調査時間：AM7時～AM9時】

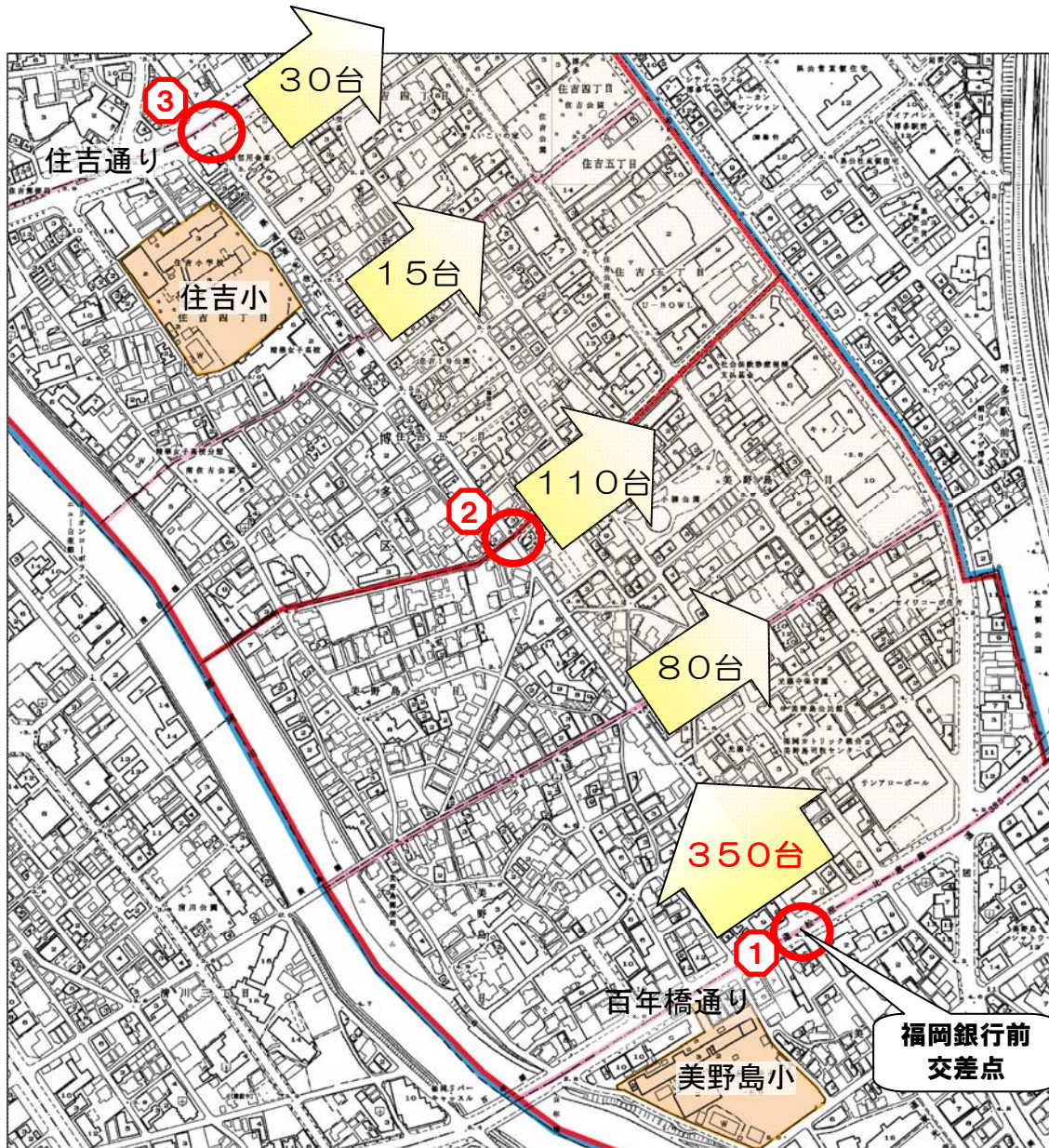
①C2ルートの交通量

区間	C2ルート	Bルート
住吉通りから南下	200台	40台
百年橋通りから北上	350台	60台

②Bルート方面への車両の移動状況（下図参照）

福岡銀行前交差点から C2ルートへの進入車両数		350台
内 訳		
地 点		台数
内 訳	①～②の区間でBルート方面へ進入した台数	80台
	②地点でBルート方面へ進入した台数	110台
	②～③の区間でBルート方面へ進入した台数	15台
	③地点でBルート方面へ進入した台数	30台
	計	235台

約67%



【参考資料】

見守り・誘導體制

○配置地点

○ 第5回交通安全部会で確認した配置地点（7箇所）

○ 上記配置地点以外にも、さらに地域・PTAにより配置いただいている地点

